

地域振興 企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

本市で3人目の地域おこし協力隊員委嘱



左・鶴飼さん、右・菊池市長

7月に地域おこし協力隊に就任した2人に引き続き、今回新たに1人が就任し、11月12日に委嘱式が行われました。

今回就任したのは、埼玉県出身の鶴飼成久さん。道の駅しもつまと連携して地域資源を活用した新商品の開発や、下妻市の魅力を広くPRすることで市のファンを増やすなど、ふるさと納税を推進する活動に取り組みます。

鶴飼さんは「地域の人たちが、何を発信したいのかわかりながら、SNSやインターネットを活用した下妻市のPRをしていきたい」と話していました。

防災・減災 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

秋季全国火災予防運動広報パレード



広報パレードに出発する消防団の車両

11月15日、市消防団などの車両25台による秋季全国火災予防運動広報パレードがWaiwaiドームしもつまから出発し、市内3コースに分かれ火災予防を呼びかけました。

この広報パレードは、11月9日から15日までの7日間、秋季全国火災予防運動に合わせて、市消防団などの関係者により行われたもので、これから火災の発生しやすい時期を迎えるため、市民へ火災予防を呼び掛け、火災の発生を防止することを目的に行われました。

有料広告欄

かわまちづくり 建設課 ☎45-8125 FAX43-2945

川とまちをつなぐサイクリングロード試走会・意見交換会を開催

現在、鬼怒川緊急対策プロジェクトプラスワン事業として、鬼怒川堤防上にサイクリングロードが整備されているところです。

11月8日にはサイクリングチーム「シルクロード7」のメンバーを中心に37人が参加した試走会が行われ、まちの活性化などを目的に仮策定されたコースの特性や安全性を確認しました。コースはピアスパークしもつまを起点としておおむね鬼怒川沿いを南下、小貝川を北上するもので、常総市の豊田城、やすらぎの里しもつま、大宝八幡宮などを巡りました。

試走後に行われた意見交換会では、「筑波山を見ながら走ることができた」「地元の名所巡りができた」と評価する一方、「コースを簡略化すべき」「危険と思われる箇所もあり改善が必要」との提案がなされました。



鬼怒川・大形橋付近を試走する参加者

英語教育 指導課 ☎44-0746 FAX43-9608

東部中学校区でオンライン英語交流を実施

令和2年度下妻市英語教育推進事業の一環として、東部中学校と、騰波ノ江・豊加美・高道祖小学校を結んだオンライン交流会を、11月17日、18日の2日間にわたり実施しました。

17日に豊加美小学校で行われた交流では、6年生の児童たちが身振り手振りを加えながら英語で懸命にモニターの向こうの中学生に答えようとしていました。

豊加美小学校6年の松本杏彩さんは、「英会話だけでなくジェスチャーを使うとより伝わりやすくなることに気づきました。この経験を活かし色々な人との会話につなげたいです」と話していました。



英語で交流する中学生(モニター側)と小学生(手前側)

旭日小 綴章

やまざき ひろあき
山崎 洋明さん

元下妻市議

(77歳・高道祖)



昭和62年12月、地域住民から推されて下妻市議会議員に当選して、令和元年12月まで8期32年にわたり在職し、市民の声に良く耳を傾け、卓越した識見と持ち前の実行力により、市民福祉の向上に貢献されました。また、平成20年1月から平成22年6月まで監査委員として在職し、財務に関する事務の執行、経営に係る事業の適正な執行に尽力されました。「この度の受章は、長年にわたる皆さまの心温かいご支援ご指導の賜物と深く感謝申し上げます」。

瑞宝単光章

くりはら あきら
栗原 章さん

元茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防司令

(74歳・下木戸)



昭和41年から下妻市常備消防団員として採用された後、組織変更を経て、平成11年から茨城西南地方広域市町村圏事務組合の消防指令を務め、平成19年3月に退職されるまで40年6カ月の長きにわたり消防組織の充実強化に努めるとともに消防・防災活動に尽力されました。「このような尊い叙勲を受けることができたのは、地元住民の皆さまのご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます」。

瑞宝双光章

いいむら やすお
飯村 泰雄さん

元県警部

(72歳・大宝)



昭和43年4月、茨城県警察官として採用されて以来、平成20年3月に常総警察署の警部として退職されるまで40年の長きにわたり警察官として務められました。この間、県内の各署に勤務し、交通機動隊や刑事、鑑識などを担当され、指導員としても後輩の人材育成に尽力されました。「この度の受章は私一人で得たものでなく、職場の方々、また明るい家庭を築いてくれた妻や子どもたちの助けがあつてのもの」と感謝しています」。

令和2年 秋の栄典 受章おめでとうございます

令和2年秋の叙勲において、下妻市から旭日小綴章に1人、瑞宝双光章に2人(飯村泰雄さん、高野良則さん・元海上保安官)、瑞宝単光章に1人計4人が栄誉に輝きました。受章おめでとうございます。受章された方の中から3人を紹介します。

受章者紹介



瑞宝双光章
(高齢者叙勲)

なかじま のぼる
中嶋 昇さん

元下妻市立上妻小学校長
(88歳・柴)

昭和32年5月1日、市立上妻小学校教諭として赴任されて以来、下妻市をはじめとして近隣市町村の小中学校に勤務されました。その後、市立騰波ノ江小学校長、市立上妻小学校長を歴任し、平成5年3月に退職されるまでの長きにわたり教職を務め、児童生徒の育成に当たられました。優れた指導力と高い識見での教育には、保護者・地域住民から厚い信頼を得て大きな実績を築かれました。「この度の受章は、県北出身の私を温かく見守ってくださった皆さまの、ご支援ご指導の賜物と深く感謝申し上げます」。